

2021年 初秋号 2021/9/15 発行

JAPAN INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-23-10 安田ビル3階
TEL&FAX 03-3352-3918 Email: info@jifa.org

アジア新型コロナ感染動向

東京オリンピック・パラリンピック2020が閉幕しましたが、日本はじめアジア諸国では新型コロナウィルス感染傾向に歯止めがかからない状況にあります。なかでも変異株であるデルタ型ウィルスによる感染は、いままで感染対策優良国といわれていたベトナムをはじめアジア各国にも深刻な広がりを見せています。各国の状況は下記のとおりです。

JIFAでは親善交流の再開を目指しながら、国内の帰国困難者への支援等を継続、ワクチン接種率が低いベトナムの政府コロナワクチン基金への協力やミャンマーの人権擁護活動への支援を続けています。

ベトナムワクチン基金に協力

ベトナム政府は新型コロナワクチン基金を広く呼び掛けながら輸入、国際ワクチン研究・製造を推進しています。JIFAも協力し、7月6日、駐日ベトナム大使館で感謝状をいただきました。デルタ株が東南アジア全域で拡がりつつあり、ワクチン普及により収束が早まること期待されます。



東南アジア各国の新型コロナ感染・ワクチン接種動向

2021年9月初現在				
国名	累積患者数	新規患者数 9月9日現在	死亡者数	ワクチン※ 接種率(%)
ベトナム	576,000	12,420	14,470	3.9
ミャンマー	425,000	2,310	16,265	3.3
カンボジア	91,524	589	2,007	55.1
インドネシア	4,150,000	5,990	138,000	14.7
フィリピン	2,160,000	27,887	34,733	14.6
タイ	1,340,000	16,031	13,731	15.7
台湾	16,062	6	838	4.3
日本	1,620,000	10,389	16,649	49.5

※ワクチン接種率 (必要回数接種)



ベトナム政府新型コロナワクチン基金へ協力の
ベトナム大使からJIFAへ感謝状授与
2021年7月6日 駐日ベトナム大使館

ベトナム帰国困難者支援 大恩寺訪問



↑ 千食分の麺を差し入れ 2021年3月



衣類や食料品を差し入れ 8月3日



9月7日大恩寺訪問

8月3日、9月7日に大恩寺を訪問し、帰国を待つベトナム青年らを激励・交流しました。衣類や麺等食料品を差し入れました。

大恩寺では、各方面から寄せられた米や食糧等の支援物資を、全国の帰国困難ベトナム人らに今までに7,000箱を発送したそうです。大恩寺に身を寄せる青年らは、就労可能の特定活動在留資格を取得し近隣農家で働いたり、農家の生産したオクラの袋詰め作業などに精を出していました。農家出身の青年も多く、

広大な「浄農園」で収穫した各種農産物は、ベトナム留学生や帰国困難者への支援のみならず、コロナ禍で頑張る子ども食堂や山谷の困窮者支援施設へも届けられています。

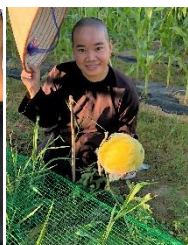
こうした施設は全国にもできつつありますが、首都圏在住のベトナム人の心の拠りどころとなる場所として、都内足立区東綾瀬に「東京大恩寺」を設立する準備が進められ、広く寄付者を募っています。



開墾した大恩寺浄農園



オクラの袋詰め



育ったスイカ



漬物に使う小茄子



9月7日訪問



南瓜の収穫

NPO法人認定制度運用の改善に向けて 6月14日 東京都へ行政不服審査請求

JIFAは、各方面から寄せられる善意あふれる寄付をいただき易くすべく、認定NPOを目指しています。

この間、平成29・30年度を実績判定期間とする認定申請を行ってきましたが、ほとんどの要件を満たしていたにもかかわらず、職員の賞与（2年間総額9万円）の根拠賃金規程の文言が法令に違反していたとして、賃金規程の修正の機会を与えられないまま不認定となりました。そのため、6月14日付で東京都に対して行政不服審査請求を行いました。一刻も早く不認定を撤回させ、認定NPOとして、いま特に必要な在日外国人支援等の社会貢献活動に取組みたいと思います。

NPO認定制度の運用については、他の道府県・政令指定都市と異なり、東京都においては判断基準が不明確なまま、申請を取下げさせる動きかけをする傾向があり、問題視されています。（東京都の取下げ率は41.9%と、東京都を除く道府県政令指定都市の平均取下げ率15.5%を大きく上回っています）

本来、NPOの活動を積極的に促進するはずの法律の運用を、法の趣旨に沿ったものに改善させるために、多くのNPOや専門家とともに尽力する所存です。

抗原検査キットの普及協力を始めました

感染しているかどうかを把握する目的で、個人や企業でも簡単にできるJOYSBIO社抗原検査キット（正規品）の普及をはじめました。連携団体であるGDF（グローバルドリーム財団）が扱っています。迅速に15分で確認できます。是非ご活用下さい。

JOYSBIO® JOYSBIO(Tianjin) Biotechnology Co.,Ltd.

新型コロナウイルス抗原検査キット

REGISTERED



EU CE Certification



Emergency Use Authorization



FIND-EP

製品名	新型コロナウイルス抗原検査キット(Colloidal Gold)	正規品
規格及び販売方法	希望小売価格5,400円(税別) (税別) ※大量購入の場合別途お見積りとなります。	GDF JIFA会員価格 3,000円
製品仕様	有効期限：24ヶ月 保管条件：2~30℃(常温) 検体採取方法：唾液検体	保管期限 2023.4
製造及び販売元	製造元：JOYSBIO(Tianjin) Biotechnology Co.,Ltd. 販売元：シグマファルマ・システムズ株式会社	
取扱団体	グローバルドリーム財団 (GDF) ・ 日本国際親善協会 (JIFA)	

新型コロナ感染を疑わるときに、その場で直ちに調べられる抗原検査の需要が高くなっています。連携団体(GDF)が取り扱う正規品検査キットを3,000円で普及しています。普及によりJIFAに10%が寄付されます。

ワクチン接種後の抗体の確認に 抗体検査キットのご活用を

ワクチン接種後、きちんと抗体ができてきているか心配ですが、Boson社抗体検査キットで抗体を確認することが出来ます。時間経過による抗体の消失傾向の確認、3回目の接種をするかの判断などに是非ご活用ください。連携団体であるGDFが扱っています。迅速に15分で確認できます。

当会理事長も、ファイザーワクチン2回接種後、当会の普及しているBoson社の抗体検査キットを使い、IgG抗体ができてきているか確認しました。右図のとおり、IgG抗体を示す赤線がしっかり表示されました。定性分析ではありますが、コロナウイルス抗体が確認でき、当面はひと安心、ブレークスルー感染の可能性はあるにせよ業務を継続しています。皆さまも、手軽にできる抗体検査をご活用ください。ワクチン接種証明書とともに、付属の抗体検査確認書もご活用ください。



ワクチン接種後の抗体検査確認書例

抗体検査確認書

新型コロナ抗体検査を自ら実施したところ、下記の結果を確認しました。

IgM抗体 **陰性** **陽性**
IgG抗体 **陰性** **陽性**

検査日時：2021年8月 日 時
検査対象：血液中IgM抗体及びIgG抗体
検査方法：イムノクロマトグラフィー
検査キット：BOSON社製2019-nCoV IgM/IgG Duo検査キット (Lot.20020201)

検査者



コロナ感染拡大を受けて、期間限定（11月迄）で、連携団体（GDF）が扱う抗体検査キットを3,000円で普及しています。こちらも、普及によりJIFAに10%が寄付されます。

一人でも多くの方に会員になっていただき活動へ参加下さいませよう 皆様をお誘いください！

	入会金	年会費(一口)
法人会員	30,000円	30,000円
個人正会員	10,000円	10,000円
個人賛助会員	5,000円	5,000円
学生会員	500円	1,000円

※ 2020年度から法人、個人正会員、個人賛助会員の会費が改定されました。

※ 支援金 学資支援(1口 10,000円)

会費・支援金等は振込口座をご利用下さい

口座名：特定非営利活動法人 日本国際親善協会

☆ゆうちょ銀行 支店名 〇ー八 (ゼロイチハチ)
店番018 番号 9825376

☆三井住友銀行新宿通支店
店番 661 普通 7274362

特定非営利活動法人 日本国際親善協会 (JIFA)

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-23-10 安田ビル3階

TEL & FAX : 03-3352-3918 E-mail: info@jifa.org